



Chapter
01

統計から見る晩婚化と未婚化

特集
結婚を考える
それぞれの選択

図1 初婚年齢の推移(全国)

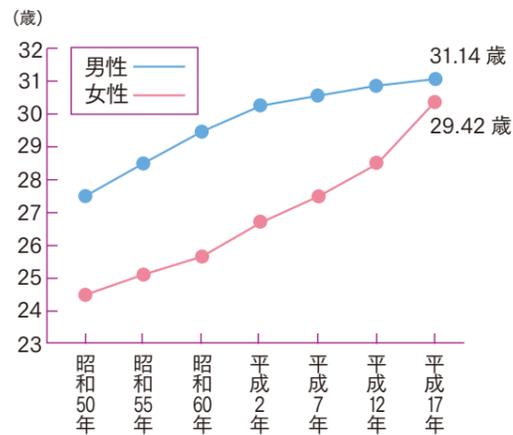
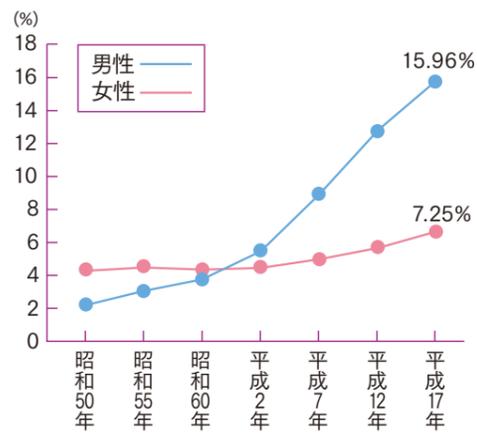


図2 生涯未婚率の推移(全国)



国立社会保障・人口問題研究所 人口統計資料集より

上昇する初婚年齢と未婚率
近年、初婚年齢が高くなる、いわゆる晩婚化が進んでいきます。ここ30年の間に男性は3.5歳、女性は5歳、初婚年齢は上昇しました(図1)。このことは晩産化や少子化の原因になっているとも考えられています。

また、生涯において一度も結婚しない生涯未婚率も男女共に上昇しています。特に男性の生涯未婚率はここ20年の間に著しく上昇しました。女性の生涯未婚率が昭和50年は4.32%、平成17年は7.25%と緩やかに上昇したの比べ、男性は昭和50年が2.12%、平成17年は15.96%と、約14%近く上昇しています

(図2)。このことから、未婚化が急速に進行していることが分かります。こうした晩婚化・未婚化の原因としては、個人主義の浸透や高学歴化など、さまざまな要素が複雑に関連していることが考えられます。

結婚する意思を持つ未婚者は約9割
次に未婚者の結婚の意思を見てみます。いずれは結婚するつもりと考える未婚者の割合は、近年減少する傾向でしたが、直近の調査では下げ止まりが見られ、男女ともに9割程度で推移しています(表1)。

これらのことから、「結婚する意思はある」けれども、「結婚できない人が増えている」「結婚する年齢が高くなっている」ということがうかがえます。

表1 未婚者の生涯の結婚意思(全国)

調査年度	男性				女性			
	昭和57年	平成4年	平成14年	平成17年	昭和57年	平成4年	平成14年	平成17年
いずれ結婚するつもり	95.9%	90.0%	87.0%	87.0%	94.2%	90.2%	88.3%	90.0%
一生結婚するつもりはない	2.3%	4.9%	5.4%	7.1%	4.1%	5.2%	5.0%	5.6%
総数(18~34歳未婚者)	2,732人	4,215人	3,897人	3,139人	2,110人	3,647人	3,494人	3,064人

国立社会保障・人口問題研究所 出生動向基本調査より

人生には、受験、就職、結婚、出産など、いくつかの大きな転機が訪れます。今回の特集は、そんな転機の一つ「結婚」について考えます。

最近、耳にすることの多い「晩婚化・未婚化」や「婚活」などのキーワード。これらとともに、多様化する結婚に対する考え方を見つめ直します。

問い合わせは 市政発信課 ☎898-6642